



# 月信

2009-10RIテーマ **ロータリーの未来はあなたの手に**

AUGUST.2009-2010 VOL.02

**VOL.02 CONTENTS**

1p.ガバナーコラム 1p.拡大増強月間について 2・3p.各委員長方針と就任のご挨拶ご挨拶 4-5p.クラブ会長・幹事紹介 6p.地区諮問委員会・地区運営委員会報告 6p.一年交換留学生募集要項 7p.出席報告 7p.新入会員紹介他 8p.諸事ご案内



GOVERNOR'S COLUMN  
ガバナーこ・ら・む

ロータリアンは、地域のリーダーであり指導者の集まりであるといわれます。

アングロサクソン語で言われるリーダーと、中国古典で言われる指導者は、同義語ということになります。

中国古典でいう指導者というものは、君子ともいいますが、どんな人たちを指すのでしょうか。

中国古典の中には、論語をはじめ、孟子、老子、莊子・・・等名だたる指導書があります。中国10億の民の中に、現在これらの指導書が行き渡っていれば、中国餃子問題や、ニセモノ・・・等はあるはずないのですが、中国古典というのは、指導者の為の指導書で一般人達には読まれてはいないのではないのでしょうか。

西の「聖書」、東の「論語」といわれるように「論語」は昔から最も基本的な教養書として読まれてきた

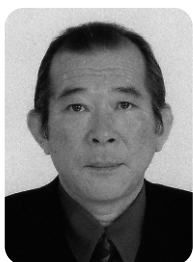
のです。組織の管理職、責任者さらに広くの社会の指導的立場にある人々を一括してリーダーと呼ぶとすると、近年、日本ではそちらこちらにリーダーとして説得力に欠けていると思わざるを得ない人達をよく見かけます。

なぜ、そういうリーダーが生まれてくるのでしょうか。それは他でもない自分を鍛える努力を怠っているからです。リーダーは他の人々にない重い責任を負わされています。その責任を果たすため、能力、人格ともに優れていなければなりません。したがって、リーダーたる者には、常に自分の能力や人格を高める努力が望まれるのです。それを怠れば、リーダー失格、そしてロータリアン失格と言わざるを得ません。

我々日本人は、昔から「和」を重んじてきました。聖徳太子の「和を以て貴しとなす」であります。和を重んじるばかりで、皆でやれば怖くないでは困ります。「君子は和して同ぜず 小人は同じて和せず」前者は自分の主体性をあくまでも守りながら、周囲の人々と協調する態度を指し、後者は、自分の意見がなくて、やたら付和雷同する態度のものを指します。

ロータリアンは、指導者であり、君子であるが故に、「和して同ぜず」、主体性を保ちながら他との協調を図って行きたいものです。

皆さんは、もちろん・・・ですよね。



会員増強及び  
拡大月間について  
地区会員組織委員長  
岩上 総一郎  
(大田原RC)

8月の会員増強にあたり、会員の皆様に改めて会員の増強及び会員の維持についてお願い申し上げます。本年度の国際ロータリーのテーマは“ロータリーの未来はあなたの手に”であります。会員増強において、本年度の会員は新しいプログラムを設けたり、現実的でない目標を設ける事も致しません。責任感ある皆様に信頼を託すのみとっております。よって、私達一人一人の責任において会員増強に努めなくてはなりません。我々が何もしないでいると会員の死亡とか移転又は今年百年に一度の不況等により自然に減ってしまうのですから、常に新しい会員をつのらなければなりません。

それには活動方針として

①クラブの活性化を目指す

例会の時間を考える月に一度は夜にする。  
クラブの若返りの為若い人や女性を入れる。  
入会費等の会費を下げる等。

②魅力あるクラブを考える

これはクラブによって人数も年齢も様々でありますから自分達のクラブは何名位が理想的か、例会の時間は、プログラムはどうだろうか等、出来れば運営委員会を作って今後のクラブのあり方がどうあるべきか検討して頂きたく思います。入って良かったと、思われる様なクラブ作りをお願いします。

③退会者を出さない

特に3年未満の会員の退会者が多くを占めています。よって新入会員には、推薦者が中心となりクラブが一丸となってサポートして頂きたくお願い致します。最後に、何もしないでいると会員数は自然減となります。よって目標はどのクラブも純増1名以上にして頂く様、会員組織のみならず全員が増強委員であると考え増強に協力して頂く様お願い申し上げます。



# 各委員長方針及び就任のご挨拶



## 職業奉仕委員会 委員長



瀬下 龍夫  
(壬 生)

職業は生活の糧を稼ぐだけのものではありません。己の職業が世の中のため人のために役立っているからこそ認められ、存在しているのです。ロータリアンなら誰でも先刻ご承知のはずです。社会の期待に応えるため、各自の職業に関する道徳水準を高めていくにはありません。いや職業のみならず日常生活においても、道徳を守り、奉仕の理念を實踐してゆくこそ、職業奉仕なのでしょ。

取引関係者や地域社会の利害にも配慮しながら、自分の取り分を決めてゆく。職業奉仕では、この利他と利己のバランスを、第三者的観察者の立場で適正に量ることが肝要です。それには四つのテストが役立ちます。その四つのテストはご自分で実践されるだけでなく、従業員、同業者、納入業者や販売業者にも広めてください。

換言すれば、思いやりの心です。この思いやりの気持ちを高めると同時に、多くの方の心の中にも育ててください。未来に引き継いでください。

国際ロータリーから消えつつある決議23-34を読み返し、その精神を尊重し、心から絶対に消さないようにしようではありませんか。決議23-34の精神で職業奉仕を實踐する。これが今ほど、日本のロータリアンに求められているときではありません。

わが国は資本主義国家であり、民主主義国家です。その上、モラル・ハザードが起きやすい経済状況です。不況のいまこそ、職業倫理が強く求められているのです。

高名な倫理学者マイケル・ジョセフソン氏の「成功への倫理道」を翻案しました。ビジュアルで記憶に残るパワー・ポイントです。10月の職業月間に関係なく、いつでも卓話にお呼びください。

為さざるなり 能わざるに 非ざるなり 孟子

3年目のクラブ奉仕委員長をお引き受けをし、森ガバナーのもと以下の目標に向かって努力いたしたく考えていますので、皆様がたのご支援をよろしくお願いいたします。まず、本委員会の目標は各クラブでのロータリー活動を理解し、意欲的に参加する方策を考え、実行し、50クラブに具体的な支援を行い、クラブ活性化、情報の共有化、会員増強策の推進、プログラム等の円滑化を計ることです。

各委員会で、次のような方針にて一年間進めたいと思います。

### ロータリー情報委員会

ロータリー情報委員会の目的は、地区レベルにおけるクラブ及びロータリアン一人ひとりがRIの情報と地区の情報を共有することにより、本地区の活性化とロータリアンのロータリーへの理解を深める事を期待することにあると思います。また、09~10年度地区ホームページをより一層充実させるために、ガバナー事務所との連携を密にし、クラブの皆様役に立つものにしてほしいと思います。皆様の積極的な参加がロータリーライフを豊かなものにすると確信しておりますのでよろしくお願い致します。

### 会員組織委員会

会員増強において、ジョン・ケニー会長は無理をしないで1名の純増を話されました。現在の社会環境を考えると退会される方を如何にするか、また自然減もあり常に新しい人材の発掘を考えなければなりません。本年度は各クラブの目標は純増1名以上にして頂く様、お願い申し上げます。会員組織委員の活動方針として、①クラブの活性化を目指す。②魅力あるクラブを皆で考える。③退会者を出さない。を考えています。活力あるクラブにしていきたいと思ひます。

### ロータリー家族委員会

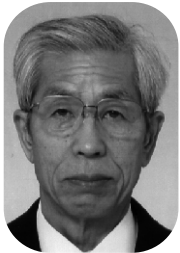
当委員会は全ての地区委員会と連動しながら活動するとあります。そして、目的は会員や家族に、クラブライフに大きな魅力を与え、会員増強や会員維持にクラブを支援することであるとあります。委員長として考えると、伝達することの大切さ、それが継続(退会を防ぐ)させることの原動力になるとおもいます。他のクラブ会員との交流も多くの情報交換できる場でもあるでしょう、また、クラブ内においての具体的な行動としては、家族へのクラブ活動情報の提供(具体的には、会報の家族配布等)、家族の参加を促すことなどが挙げられます。家族(特に配偶者)の理解なしにはロータリー活動は継続できません。会員家族(元ロータリアン、物故会員の家族を含みます)が参加し易い行事を多く取り入れ、ロータリー活動を家族により正確に理解して頂けるよう努力して頂ければと思います。

### プログラム委員会

本委員会の目的は、本地区クラブのプログラムの計画が円滑に行われるように情報を収集し、卓話者の紹介・ロータリー特別月間の地区委員会からの直話者派遣の調整などを行いクラブを支援します。

- 1) 各クラブより年間行事予定表を提出して頂きました。整理報告の準備中です。
- 2) 各クラブより週報を提出して頂き、卓話の内容を参考にし、他クラブへの外部卓話を依頼します。

## ロータリー-米山 記念奨学会委員会 委員長



塚越 啓司  
(足利東)

1953年「米山基金」として募金が開始され、1954年奨学生第一号としてタイよりソムチャード君が来日いたしました。1957年に、国内全クラブ合同事業として「ロータリー-米山奨学委員会」を全国組織として結成し、10年後の1967年度財団法人ロータリー-米山記念奨学会設立許可を取得いたしました。以来、寄付金の免税処置の認可取得、米山月間(10月)の設置、大学推薦制度の設置(2002年)など奨学団体としての拡充をはかり、2004年には国際ロータリーより多地区合同奉仕活動として認められ、正式に(財)ロータリー-米山記念奨学会となりました。(板橋理事長がR.I理事になられ、日本の米山記念奨学会について理事会の席で取り上げ、活動内容とロータリー活動としての存在意義を説明されたそうです。)このように奨学事業団体としての基盤を国際的に確固たるものにするとともに、1959年に世話クラブ制度、1971年にカウンセラー制度を導入など、他の民間団体には無いロータリー精神が息づく独自の奨学事業として活動内容の充実と洗練をとげてまいりました。今年の3月、台湾、韓国に続き中国に学友会が設立されました。学友会組織ができるということは、それほど中国でも米山奨学生が育っていることとうれしく思います。発会式には中国全土から95名の学友の皆様が参加され、式典はすべて日本語で執り行われたとのこと。元米山奨学生であり初代中国学友会会長に就任された姫軍さんの設立総会にいたるまでのご努力と情熱に敬服いたします。当初お互い面識も無く、留学した年代、大学も異なり、また中国全土に広がる元米山奨学生に連絡を取り学友会設立を実現されるまでたくさんのご苦労もあったことでしょう。また一方、かつて日本で留学生として学び、生活し、人々と交わるさまざまな体験と想いが、日本を離れてからも学友の皆様一人ひとりの心を結びつけたのではないのでしょうか。そして世話クラブ制度、カウンセラー制度を通してのロータリアンのきめ細かい支援と心のこもった交流活動こそが、学友の皆様心に深く響き、学友会組織として母国でのネットワーク活動をより後押ししているのではないのでしょうか。お互いの顔と心が見えるこの世話クラブ制度、カウンセラー制度こそロータリーならではの奨学事業の真髄といえるでしょう。一人の奨学生からスタートしたこの事業も、現在800人の奨学生を抱え、また、260万円でスタートした奨学金も14億5千万円/年の奨学資金が使われております。当地区では、毎年お一人18000円以上のご協力をいただき、今年も全34地区中上位9番の額を寄付することができました。これはまさしく地区会員の皆様のご理解とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。50年前に米山梅吉氏の功績を記念して「米山基金」を発足させた先輩たちの心を尊重し、「(財)ロータリー-米山記念奨学会」を私たちの手で継続し未来へ育てていかなければなりません。これからも地区会員の皆様方のご理解ご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

社会奉仕委員会  
委員長



柿沼 賢  
(宇都宮西)

森ガバナーは、ロータリーの原点は「職業奉仕」であると言われました。つまりロータリーの社会奉仕はその職業奉仕の理想を広く社会生活に展開し、発展させたものであります。ロータリアンひとりひとりが個人生活・事業生活・社会生活の奉仕の理想を適用して行かねばなりません。自分の職業を大切に、しかもゆるぎのないものとして、誠実なウソのない事業活動を推し進めることによって、信頼とより良い人間関係を育むことができるでしょう。徳ハ孤ナラズ 必ズ 隣アリとの基本的な考え方を肝に命じて、地域社会のニーズに応えるべく社会奉仕活動を推進して参りたいと思います。

イタリヤ中部のラクイラで開催のサミットでは温暖化ガス削減を巡って、G8が主張する50年までの排出量を半減させる長期目標を新興国と共有出来るかの問題や、9月に米ピッツバーグで開く20ヶ国サミットに於いても温暖化問題が主要議題として取り上げられ、国際的にも環境重視の気運がクローズアップされてきました。我が地区に於いても、従来から環境問題には熱心に多くの活動を行なってきましたが、本年度は大きく重点事業として足尾の環境保全問題を主に活発に行なって参りたい。又欧米では既にピークを過ぎたとされているHIV感染の流行が、我が国ではまだ右肩上がりで大変深刻な問題であります。これから生まれてくる子供たちの、明るい未来を壊さないよう、その危機感を若者たちに伝える活動。この2つの問題を積極的に進めて参ります。同時に青少年の健全育成、保健衛生・福祉、障害者自立支援等々と問題山積みではありますが、各々のクラブがそれぞれの地域のニーズに応えながら独自の社会奉仕活動を展開して頂きたいと願っています。足尾の環境問題及びエイズ撲滅の件につきましても、各クラブの皆さん方のご協力をぜひお願いいたします。

国際奉仕委員会  
委員長



白相 淑久  
(馬頭小川)

森ガバナーより国際奉仕委員長を仰せつかりました白相です。国際奉仕委員会は世界社会奉仕と友情交換委員会の2委員会です。

地区委員会は地区内各クラブへの情報提供と支援が役割であります。

世界社会奉仕(WCS)活動については、地区内各クラブにおいて活発に活動されておられ、実績もごございます。今年度も引き続いて更に活動を進めて頂ければと存じます。基本的には、必要な情報は国際ロータリーのホームページを経由して入手可能でありますので、積極的な活用を期待します。

友情交換につきましては、まだ十分把握されておられないクラブもあろうとは思いますが、機会を捉えて広報に努めていきたいと存じます。

日本も含めて世界的に経済状況が厳しい中で、時間と手間と費用とが掛る国際的な活動に新規に取り組む事は容易ではないと思います。しかし、このような厳しい状況の中でこそ、より一層世界における世界の地域におけるニーズの把握と人的ネットワークの確立に力を注ぐべきと考えます。

委員会としてお手伝いできることは積極的に進めて参りたいと思いますので、森年度の間、よろしく願い申し上げます。

新世代  
プロジェクト委員会  
委員長



川名 悟  
(宇都宮90)

日頃より、ロータリアンの皆様には、当委員会へのご理解を賜りまして誠にありがとうございます。

今年度も、皆様のご協力を頂きながら各小委員会との連携をはかり、委員会活動を進めてゆきたいと思っておりますので何卒宜しくお願い致します。

さて、青少年交換委員会が当委員会に加わり今年で2年目を迎え、各委員会の活動は充実したものになって参りました。

皆様のご協力の元、青少年育成委員会において作成した「ロータリアン講師派遣、教員生徒職場体験リスト」については、残念ながらまだ普及活動の途上です。今年度こそその有効活用の普及に努めるべく、栃木県教育委員会と共に、県内8教育事務所とその管轄地域のロータリーを結ぶ形で活用のための活動を進めて参ります。9グループ各ガバナー補佐の皆様並びに各クラブにおかれましては、引き続きご協力の程宜しくお願い致します。

さて、今年の課題ですが、特にローターアクトクラブの増強並びに活動の活性化を最大の目標に掲げたいと思います。当地区のローターアクトクラブは、その数において全国最少と大変厳しい現実に直面しております。今年こそその脱却をめざし、インターアクトクラブの卒業生並びにローテックスの参加を推し進めてゆきたいと思えます。インターアクトからローターアクトへの移行により、高校時代に培ったローターファミリーの精神が引き継がれ、その活動に生かされると思えます。また、ローテックスの皆さんには、1年間の海外生活での体験で得たものをより多くの方々に広めて頂きたいと思えます。それらにより、より魅力あるローターアクトクラブを目指したいと思います。

ライア委員会では、今年度も、秋に青年男女対象、来春に高校生対象のライアセミナーを開催の予定です。新世代プロジェクト内の各小委員会の協力は元より他の委員会のご協力を頂きながら準備を深めて参りますので、各クラブにおかれましては、参加者派遣、ロータリアンの皆様のご参加を宜しくお願い致します。今年度も若い世代の未来が夢と希望に満ちあふれたものになり、そして夢の実現を実感できる様、彼らのかかえる様々な課題を世代を超えて共有し分かちあいながら活動を進めて参りたいと思えます。

ロータリー財団委員会  
委員長



近藤 隆亮  
(宇都宮)

本年度、地区ロータリー財団委員長及びロータリー財団部門カウンセラーを勤める事となりました。地区内各クラブの皆様、ロータリー財団活動に何分のご支援ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

ロータリー財団の設立経緯に就きましては皆様ご既承の通り、1917年、時のRI会長アーチC・クランプにより提唱された「世界でよい事をしよう」に始まります。

現在、ロータリー財団はRIの非営利法人(NPO)として下記の使命の下に活動して居ります。即ち、「ロータリアンが、健康の増進・教育への支援・貧困の救済等の活動を通し、ロータリアンの世界理解・親善・平和促進を達成できるよう支援すること」であります。具体的には「ロータリー・クラブと地区を通して実施されるロータリー財団が承認したプログラムへの支援資金を供与する非営利法人」と位置付けられて居ります。

ロータリー財団が資金供与の対象とするプログラムは下記2つの分野に属するものです。

- 人道的プログラム：保健・飢餓追放・人間尊重(3H)、地区内・外国でのプログラム(WCS)、ポリオプラス
- 教育的プログラム：国際親善奨学金、世界平和フェローシップ、平和・紛争解決研究、GSE

これらのプログラムへの支援資金は全て皆様からの財団への寄付金により賄われて居ります。財団への寄付としては大きく下記の3つの種類があります。

- 恒久基金：ロータリー財団活動の基礎と成るもので、運用益のみを具体的プログラムへ供与します。
- 年次寄付：3ヵ年間運用の後、年次プログラム基金として国際活動資金と地区活動資金に分割の上、年次プログラムに供与します。
- 使途指定寄付：ポリオプラス等具体的にプログラムを指定した寄付です。

地区財団委員会は、下記6委員会を通して皆様のロータリー財団活動を支援致します。

- 国際親善奨学金委員会
  - 研究グループ交換(GSE)委員会
  - 財団補助金委員会
  - 年次寄付・恒久基金委員会
  - 財団学友委員会
  - ポリオプラス&識字率向上委員会
- 皆様が、地区ロータリー財団委員会を活用し、皆様のクラブの活力あるロータリー財団活動への参加、協力、支援を実現して戴きたく、重ねてお願い申し上げます。以上就任のご挨拶と致します。



# 第2550地区クラブ会長・幹事紹介



## 第1グループ

|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| <b>大田原</b><br><br>クラブ会長<br>よしなり としみ<br>吉成仁見 | <b>黒磯</b><br><br>クラブ会長<br>ときわ みのる<br>時庭 稔 | <b>西那須野</b><br><br>クラブ会長<br>さわだ よしお<br>澤田次男 | <b>黒羽</b><br><br>クラブ会長<br>いしど よしお<br>石戸 芳雄 |
| <b>幹事</b><br>う が じん なおと<br>宇賀神直人            | <b>幹事</b><br>いしかわ ゆういち<br>石川 祐一           | <b>幹事</b><br>くんじ よしかず<br>郡司 吉一              | <b>幹事</b><br>さとう たくお<br>佐藤 琢夫              |



|   |   |   |   |  |  |
|---|---|---|---|--|--|
| <b>那須</b><br><br>クラブ会長<br>こくぶん さねおみ<br>國分仁臣 | <b>塩原</b><br><br>クラブ会長<br>たか しゅういち<br>高田 修一 | <b>大田原中央</b><br><br>クラブ会長<br>きみじま たかあき<br>君島 孝明 | <b>那須</b><br><br>クラブ会長<br>さとう もとのり<br>佐藤 元典 | <b>塩原</b><br><br>クラブ会長<br>すず き ひろし<br>鈴木 汎 | <b>大田原中央</b><br><br>クラブ会長<br>せん よしなが<br>千 昌永 |
|---|---|---|---|--|--|



## 第2グループ

|   |  |  |   |   |
|---|--|--|---|---|
| <b>鳥山</b><br><br>クラブ会長<br>はきわら としお<br>萩原 紀夫 | <b>氏家</b><br><br>クラブ会長<br>にしうみ えいいち<br>西海 栄一 | <b>矢板</b><br><br>クラブ会長<br>わ き かずみ<br>和氣 一巳 | <b>馬頭小川</b><br><br>クラブ会長<br>おおかわ きんや<br>大川 欽也 | <b>高根沢</b><br><br>クラブ会長<br>せん ぼ きよゆき<br>仙波 清之 |
| <b>幹事</b><br>ほりえ たつや<br>堀江 竜也               | <b>幹事</b><br>さいとう みつる<br>斉藤 満                | <b>幹事</b><br>こおりの まさこ<br>郡山 幸子             | <b>幹事</b><br>しらす としひさ<br>白相 淑久                | <b>幹事</b><br>すず き まさよし<br>鈴木 政良               |

## 第3グループA

|  |  |  |  |   |
|--|--|--|--|---|
| <b>宇都宮</b><br><br>クラブ会長<br>く ぼ い かずおみ<br>久保井一臣 | <b>宇都宮西</b><br><br>クラブ会長<br>いな き よしとも<br>稲木 義友 | <b>宇都宮北</b><br><br>クラブ会長<br>じ そ じ おさむ<br>二十二 修 | <b>宇都宮90</b><br><br>クラブ会長<br>ほ さ か まさひろ<br>保坂 正裕 | <b>宇都宮陽北</b><br><br>クラブ会長<br>みつ い よしはる<br>三井 良春 |
| <b>幹事</b><br>おがさき よしたぬ<br>岡崎 善胤                | <b>幹事</b><br>さかよし しゅういち<br>坂寄 修一               | <b>幹事</b><br>いのまた ゆういち<br>猪俣 祐一                | <b>幹事</b><br>しお い けんいち<br>塩井 賢一                  | <b>幹事</b><br>にしやま ゆたか<br>西山 穂                   |

## 第3グループB

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| <b>宇都宮東</b><br><br>クラブ会長<br>あおき かくじ<br>青木 格次 | <b>宇都宮南</b><br><br>クラブ会長<br>たか く かずお<br>高久 和男 | <b>宇都宮陽東</b><br><br>クラブ会長<br>いむむら たかゆき<br>岩村 隆之 | <b>宇都宮陽南</b><br><br>クラブ会長<br>たけいし あきひろ<br>竹石 昭厚 |
| <b>幹事</b><br>ほそや としお<br>細谷 俊夫                | <b>幹事</b><br>わかばやし ひろずみ<br>若林 博純              | <b>幹事</b><br>くんじ ただゆき<br>郡司 忠幸                  | <b>幹事</b><br>かたやなぎ たくみ<br>片柳 工                  |

クラブ事務所変更  
宇都宮RC  
事務所  
〒320-0802  
宇都宮市江野町1-12  
栃木実業ビル2階  
電話 028-621-0555  
FAX 028-621-0385

## 第4グループ

|  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| <b>真岡</b><br><br>クラブ会長<br>ふくはら いちろう<br>福原 一郎 | <b>益子</b><br><br>クラブ会長<br>ひげ た ただし<br>日下田 正 | <b>真岡西</b><br><br>クラブ会長<br>つる み まこと<br>鶴見 真 | <b>しもつけ</b><br><br>クラブ会長<br>みなみ としろう<br>南 俊郎 |
| <b>幹事</b><br>ひろせ かつお<br>廣瀬 紀夫                | <b>幹事</b><br>ほりかた かつお<br>堀中 勝夫              | <b>幹事</b><br>やなか ふうこ<br>谷中 洋子               | <b>幹事</b><br>ましやまきょうこ<br>増山 恭子               |



## 第5グループ

|   |   |  |   |  |
|---|---|--|---|--|
| <b>小山</b><br><br>クラブ会長<br>いしざき ただお<br>石崎 忠夫 | <b>小山南</b><br><br>クラブ会長<br>おお て じんぞう<br>大出 仁三 | <b>小山東</b><br><br>クラブ会長<br>すずき ひろあき<br>鈴木 廣明 | <b>小山北</b><br><br>クラブ会長<br>なかむら やすし<br>中村 靖 | <b>小山中央</b><br><br>クラブ会長<br>しばた ゆうじ<br>柴田 裕司 |
| <b>幹事</b><br>やぎ さむ たかひと<br>八木澤 孝仁           | <b>幹事</b><br>おぎ ひろあき<br>尾崎 弘明                 | <b>幹事</b><br>あらかわ まさあき<br>荒川 政昭              | <b>幹事</b><br>いしかわ ようじ<br>石川 陽二              | <b>幹事</b><br>かとう まさひろ<br>加藤 政弘               |

## 第6グループ

|   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| <b>栃木</b><br><br>クラブ会長<br>け ぶ かわ としろう<br>け ぶ かわ としろう<br>久嶋 敏郎 | <b>栃木西</b><br><br>クラブ会長<br>くしまりゅうじ<br>久嶋 柳次 | <b>壬生</b><br><br>クラブ会長<br>たちかわ きよみつ<br>刀川 清満 | <b>栃木南</b><br><br>クラブ会長<br>ふくしま かつお<br>福島 一男 |
| <b>幹事</b><br>くまくら みつよし<br>熊倉 充義                               | <b>幹事</b><br>いしづか みちのり<br>石塚 道徳             | <b>幹事</b><br>もてぎ ひろゆき<br>茂木 宏之               | <b>幹事</b><br>たての いさお<br>館野 功                 |

クラブ事務所変更  
壬生RC  
事務所  
有限会社 三品工業  
〒321-020 下都賀郡壬生町  
おもちゃのまち4-10-22  
電話 0282-86-3234  
FAX 0282-86-3269  
E-mail  
motegi@sansyo-kg.co.jp

## 第7グループ

|  |  |  |   |
|--|--|--|---|
| <b>日光</b><br><br>クラブ会長<br>の も と こ う や<br>野本 晃也 | <b>鹿沼</b><br><br>クラブ会長<br>さ が わ て つ ぞ う<br>佐川 徹三 | <b>今市</b><br><br>クラブ会長<br>いしづか みつる<br>石塚 満 | <b>鹿沼東</b><br><br>クラブ会長<br>たか は し ひろし<br>高橋 宏 |
| <b>幹事</b><br>おがさき あきひろ<br>岡崎 彰廣                | <b>幹事</b><br>たかやま すく<br>高山 英                     | <b>幹事</b><br>こなわしやういち<br>粉川 昭一             | <b>幹事</b><br>ゆざわ よしのり<br>湯澤 義典                |

## 第8グループ

|   |   |   |
|---|---|---|
| <b>粟野西方</b><br><br>クラブ会長<br>うしく ただし<br>牛久 忠 | <b>鹿沼中央</b><br><br>クラブ会長<br>よしざわ さだお<br>吉澤 定男 | <b>今市きぬ</b><br><br>クラブ会長<br>よしほら ましお<br>吉原 美男 |
| <b>幹事</b><br>いけざわ たつお<br>池澤 達夫              | <b>幹事</b><br>うえの まさゆき<br>植野 雅之                | <b>幹事</b><br>いとう あきのり<br>伊藤 彰紀                |

## 第9グループ

|  |  |   |  |
|--|--|---|--|
| <b>足利</b><br><br>クラブ会長<br>せきや しゅんいち<br>関谷 俊一 | <b>足利東</b><br><br>クラブ会長<br>こ わ だいさお<br>小和田 功 | <b>足利西</b><br><br>クラブ会長<br>こんどう たかひこ<br>近藤 隆彦 | <b>足利わたらせ</b><br><br>クラブ会長<br>みや た すずむ<br>宮田 進 |
| <b>幹事</b><br>たじまけんじゅ<br>田嶋 顕寿                | <b>幹事</b><br>いむ も と ひでお<br>岩本 秀雄             | <b>幹事</b><br>おぎ の じゅんぞう<br>荻野 純三              | <b>幹事</b><br>いしくろ たかお<br>石黒 隆夫                 |

## 第10グループ

|  |   |   |  |   |
|--|---|---|--|---|
| <b>佐野</b><br><br>クラブ会長<br>あまの けん<br>三好 仁 | <b>葛生</b><br><br>クラブ会長<br>くらた たかし<br>新田 実 | <b>田沼</b><br><br>クラブ会長<br>さいとう みお<br>斎藤 治 | <b>佐野東</b><br><br>クラブ会長<br>いちかわ しげき<br>市川 茂樹 | <b>岩舟</b><br><br>クラブ会長<br>いけだ のりゆき<br>池田 則之 |
| <b>幹事</b><br>きくち てつや<br>菊池 哲也            | <b>幹事</b><br>すどう のりかず<br>須藤 功一            | <b>幹事</b><br>たかざわ しげお<br>高澤 茂夫            | <b>幹事</b><br>さ せしゅういち<br>佐瀬 修一               | <b>幹事</b><br>おん た みつお<br>恩田 光雄              |



## 第1回諮問委員会・地区運営委員会報告



- 日時 平成21年7月12日(日曜日)  
 諮問委員会 午前10時30分～午後12時30分  
 地区運営委員会 午後3時～午後4時30分
- 会場 宇都宮グランドホテル

### ★諮問委員会

#### 《報告事項》

- ① 森年度担当カウンセラー並びに役員について
- ② 意義ある業績賞選考委員委嘱について
- ③ 森年度地区大会に関して  
 イ、地区大会各種委員会委員(案)について  
 ロ、地区大会プログラム(案)について  
 ハ、RI会長代理内定の報告  
 ニ、RI会長代理エイド選出について
- ④ 2011-12年度ガバナーノミニ―選出経過報告
- ⑤ カバナー会報告、その他

### ★地区運営委員会

#### 《報告事項》

##### 地区現況報告

- ① 2008-09年度、2009-10年度会計報告
- ② ロータリー財団地区DDFの状況報告
- ③ 2009-10年度夏期交換並びに1年交換について
- ④ 2010年規定審議会代表議員の変更について
- ⑤ 2010-11年瀬下年度  
 イ、地区研修リーダー並びに担当カウンセラーについて  
 ロ、ガバナー補佐選出について
- ⑥ 地区大会について

#### 《協議事項》

- ① 2010-11瀬下年度地区委員選出について
- ② 2011-12年度ガバナーノミニ―選出について

以上上程された報告事項、協議事項に関して、活発な意見交換が行われましたことを報告いたします。

地区幹事 伊東 永峯(宇都宮西)



## 一年交換学生募集要項

### 国際ロータリー第2550地区青少年交換委員会

国際理解と親善を促進するため、最長1年間にわたり海外で勉学または滞在できるよう派遣するプログラムです。青少年交換学生はホストファミリーと一緒に生活し、他国の生活、文化、教育などを体験します。

- |       |  |
|-------|--|
| 派遣国   | 米国、カナダ、フランス等   |
| 派遣期間  | 2010年8月～2011年7月  |
| 募集人数  | 数名   |
| 応募資格  | 1. 栃木県内居住または県内高校に在学し、日本国籍を有する高校1年生及び2年生<br>2. 保護者承諾、学校長とロータリークラブの推薦を得られる者  |
| 費用負担  | 個人負担：往復航空運賃、渡航手続き費、保険料、研修費<br>相手国での生活費、学費は全て受入ロータリークラブが負担<br>滞在中、ホストクラブから毎月1万円程度の小遣いの支給あり  |
| 応募方法  | 電話かメールで詳細確認又は応募したい旨、下記へ連絡下さい。<br>国際ロータリー第2550地区ガバナー事務所<br>TEL: 028-651-2550<br>E-mail: m2550@agate.plala.or.jp<br>担当の青少年交換委員より資料が送付されます。 |
| 応募締切  | 2009年9月30日   |
| 選考試験  | 2009年10月4日(日)  |
| 合否発表  | 2週間以内に本人、推薦クラブ、高校に文書で通知されます。   |
| 研修会   | 合格者は数回の研修会(オリエンテーション)が義務出席となり、その間、交換学生として不適当とみなされた場合、合格を取り消されます。(保護者同伴の研修会もあります。)  |
| 派遣国決定 | 数回のオリエンテーションを経た後、本人の意向を考慮したうえで最終的に委員会が決めます。  |

交換とは地区(District)と地区の交換ですから、推薦クラブ=受入クラブではありません。また、語学修得を目的にした制度ではなく、日本と相手国の相互理解を通し、世界平和を目指したプログラムです。

### ■ 物故会員 ■ 謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



おかもと たけし  
**岡本 健**  
 (真岡RC)

物故  
 平成21年5月22日  
 享年64歳

■ ロータリー歴  
 2008-09年度  
 国際奉仕委員長



おおて なおゆき  
**大手 直之**  
 (小山RC)

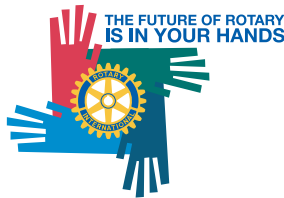
物故  
 平成21年6月7日  
 享年65歳

■ ロータリー歴  
 1998-99年度  
 クラブ奉仕委員長  
 2000-01年度  
 雑誌史料管理委員長  
 2003-04年度  
 職業分類委員長  
 2006-07年度  
 幹事  
 2008-09年度  
 ロータリー情報委員長

■ 財団・米山記念奨学金などの寄付歴  
 ポールハリスフェロー97年1000\$以上達成  
 米山功労者マルチプル2006-07年度22万円



# RID 2009-10 2550地区大会 開催のご案内



10/25(日) 第2日 本会議  
宇都宮グランドホテル

ホスト:宇都宮西ロータリー・クラブ

10/23(金) 記念ゴルフ大会  
宇都宮カンツリークラブ

10/24(土) 第1日 会長・幹事・  
地区指導者育成セミナー  
宇都宮グランドホテル

- 13:00 登録開始
- 13:30 点 鐘  
国歌斉唱・ロータリーソング  
開会の言葉  
RI会長代理紹介・ご来賓紹介  
ガバナー挨拶  
RI会長代理挨拶  
地区会計収支及び監査報告
- 14:30 講 演  
藤川享胤氏  
演題「ロータリーの目指すもの」  
ガバナー謝辞
- 16:15 閉会の言葉・点鐘



RI会長代理  
藤川 享胤 氏  
RI2800地区  
パストガバナー  
鶴岡ロータリー・クラブ  
■ロータリー歴  
1999-2000年  
2800地区 地区ガバナー  
2002-2004年  
RI国際協議会研修リーダー  
第1ゾーンR財団地域コーディネーター  
国際協議会シニアSAA  
国際大会シニアSAA

## RI会長代理歓迎晩餐会

- 17:00 RI会長代理ご夫妻入場
- 17:05 開会の言葉  
RI会長代理・ご来賓紹介  
RI会長代理挨拶  
乾杯・祝宴  
オペラティック・コンサート  
テノール歌手/川久保 博史 様  
閉会の言葉  
ロータリーソング
- 19:45 お開き

- 9:00 登録開始
- 9:25 RI会長代理ご夫妻入場  
点 鐘  
国歌斉唱・ロータリーソング  
物故者黙祷  
開会の言葉  
歓迎の言葉  
RI会長代理紹介  
ご来賓紹介・地区外参加クラブ紹介  
ガバナー補佐紹介・地区内クラブ紹介  
ガバナー挨拶並びに地区現況報告  
RI会長代理挨拶並びにRI会長メッセージ  
大会委員会報告並びに上程  
大会決議案採択  
ご来賓祝辞  
記念事業目録贈呈・記念品贈呈・祝電披露  
各種表彰
- 12:00 昼食・休憩  
＜屋台村＞
- 12:45 奨学生紹介並びにスピーチ  
招待学生GSE第6380地区  
(カナダ・アメリカ)チーム紹介
- 13:45 ガバナーエレクト紹介  
次期開催地代表挨拶
- 14:00 記念講演  
齋藤 一彦 氏  
「フラガール誕生から  
スパリゾートへの道のり」
- 15:15 大会を顧みて(RI会長代理講評)  
ガバナー謝辞  
閉会の言葉・点鐘
- 15:45 懇親会  
＜フラダンス・ショー＞
- 17:00 お開き

## 記念講演

講 師  
常磐興産株式会社  
代表取締役社長 齋藤 一彦 氏

-観光による地域再生について-  
「フラガール誕生から  
スパリゾートへの道のり」



## 文庫通信

|                                 |   |       |      |     |                       |
|---------------------------------|---|-------|------|-----|-----------------------|
| 「ロータリーの基本精神としての『サービス理念』と『職業奉仕』」 |   | 菅生 浩三 | 2009 | 4 p | (D.2660月信)            |
| ロ<br>ー<br>タ<br>リ<br>ー<br>情<br>報 | 「これからのロータリー」                                      | 渡辺 好政 | 2009 | 6 p | (D.2690地区大会記録誌)       |
|                                 | 「約束を守ろう!ポリオ撲滅」                                    | 岩淵 均  | 2009 | 8 p | (D.2770月信)            |
|                                 | 「1911年のロータリーの<br>Toleration (寛容)とPhilosophy (哲学)」 | 坂本 俊雄 | 2009 | 1 p | (D.2750新会員研修セミナー研修資料) |
|                                 | 「ロータリーの奉仕・Serviceをめぐる<br>10年間の大議論 1923年23134号決議」  | 坂本 俊雄 | 2009 | 2 p | (D.2750新会員研修セミナー研修資料) |
|                                 | 「貧困への挑戦 識字プロジェクト」                                 | 竹腰 兼壽 | 2009 | 1 p | (D.2630月信)            |
|                                 | 「ロータリーにおける社会奉仕について」                               | 勝野 露観 | 2009 | 10p | (D.2640月信)            |
|                                 | 「ロータリーの職業倫理訓逐条解説(10)~(12)」                        | 青木 伸翁 | 2009 | 3 p | (D.2770月信)            |

ロータリー文庫  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
開館:午前10時~午後5時 休館日:土・日・祝日  
電話 03-3433-6456 FAX03-3459-7506http://www.rotary-bunko.gr.jp

※上記申込先:  
ロータリー文庫 (コピー/PDF)

## 第2550地区ガバナー事務所

〒320-0826 宇都宮市西原町142 宇都宮グランドホテル内 TEL:028-651-2550 FAX:028-651-2551  
メールアドレス/m2550@agate.plala.or.jp

8月のロータリーレート/1\$=94円